

導入ガイド

Novell® PlateSpin Forge

3.1

2011年10月

www.novell.com



保証と著作権

米国 Novell, Inc. およびノベル株式会社は、本書の内容または本書を使用した結果について、いかなる保証、表明または約束も行っておりません。また、本書の商品性、および特定の目的への適合性について、いかなる明示的または黙示的な保証も否認し、排除します。また、本書の内容は予告なく変更されることがあります。

米国 Novell, Inc. およびノベル株式会社は、すべてのノベル製ソフトウェアについて、いかなる保証、表明または約束も行っておりません。また、ノベル製ソフトウェアの商品性、および特定の目的への適合性について、いかなる明示的または黙示的な保証も否認し、排除します。米国 Novell, Inc. およびノベル株式会社は、ノベル製ソフトウェアの内容を変更する権利を常に留保します。

本契約の下で提供される製品または技術情報はすべて、米国の輸出管理規定およびその他の国の輸出関連法規の制限を受けます。お客様は、すべての輸出規制を遵守し、製品の輸出、再輸出、または輸入に必要なすべての許可または等級を取得するものとします。お客様は、現在の米国の輸出除外リストに掲載されている企業、および米国の輸出管理規定で指定された輸出禁止国またはテロリスト国に本製品を輸出または再輸出しないものとします。お客様は、取引対象製品を、禁止されている核兵器、ミサイル、または生物化学兵器を最終目的として使用しないものとします。ノベル製ソフトウェアの輸出に関する詳細については、[Novell International Trade Services の Web ページ \(http://www.novell.com/info/exports/\)](http://www.novell.com/info/exports/) を参照してください。弊社は、お客様が必要な輸出承認を取得しなかったことに対し如何なる責任も負わないものとします。

Copyright © 2009-2011 Novell, Inc. All rights reserved. この出版物のいかなる部分も、発行者の書面による明確な同意を得ずに複製、複写、情報検索システムへの保存、または送信することは禁じられています。

Novell, Inc.
404 Wyman Street, Suite 500
Waltham, MA 02451
U.S.A.
www.novell.com

オンラインマニュアル: 本製品とその他の Novell 製品の最新のオンラインマニュアルにアクセスするには、[Novell マニュアルの Web ページ \(http://www.novell.com/documentation\)](http://www.novell.com/documentation) を参照してください。

Novell の商標

Novell の商標一覧については、「[商標とサービスの一覧 \(http://www.novell.com/company/legal/trademarks/tmlist.html\)](http://www.novell.com/company/legal/trademarks/tmlist.html)」を参照してください。

サードパーティ資料

サードパーティの商標は、それぞれの所有者に帰属します。

目次

このガイドについて	7
1 PlateSpin Forge アプライアンスの使用開始	9
1.1 開始準備	9
1.2 アプライアンスの設定手順	9
1.2.1 ユニットのアプライアンスバージョンの判別	10
1.2.2 Forge コンソールを使用する場合のアプライアンスバージョン1の設定手順	10
1.2.3 Forge ACC を使用する場合のアプライアンスバージョン2の設定手順	14
1.3 PlateSpin Forge Web クライアントの起動	20
1.4 製品ライセンス	21
1.4.1 オンラインライセンスのアクティベーション	21
1.4.2 オフラインライセンスのアクティベーション	21
1.5 セットアップ後のタスク	22

このガイドについて

このガイドでは、Forge アプライアンスのセットアップに必要な、基本的な手順に関する情報を記載します。本製品では、ポータブルメディアにこのガイドの PDF バージョンが含まれています。

このガイドでサポートされている言語 (中国語、フランス語、ドイツ語および日本語) のコピーについては、製品マニュアルのページにアクセスして、目的の言語に変更してください。その他のマニュアルを参照してください。

対象読者

このガイドは、進行中のワークロード保護プロジェクトで PlateSpin Forge を使用するデータセンター管理者およびオペレータなどの IT スタッフを対象としています。

フィードバック

本マニュアルおよびこの製品に含まれているその他のマニュアルについて、皆様のご意見やご要望をお寄せください。ご意見は、Novell Documentation Feedback サイト (<http://www.novell.com/documentation/feedback.html>) からご提出ください。

その他のマニュアル

このガイドは、PlateSpin Forge 3 マニュアルで使用されているテキストから生成されています。このリリースをサポートする出版物の完全なリストについては、PlateSpin Forge オンラインマニュアルの Web サイト (http://www.novell.com/documentation/platespin_forge_3) を参照してください。

その他の資料

Web 上にある次の資料もご利用ください。

- ◆ Novell ユーザーフォーラム (<http://forums.novell.com>): さまざまなトピックについて議論する Web ベースのコミュニティです。
- ◆ Novell ナレッジベース (<http://www.novell.com/support>): 詳しい技術情報の記事集です。

技術サポート

- ◆ 電話 (北米): +1-877-528-3774 (1 87 PlateSpin)
- ◆ 電話 (グローバル): +1-416-203-4799
- ◆ 電子メール: support@platespin.com

PlateSpin 技術サポートの Web サイト (<http://www.platespin.com/support>) もご利用いただけます。

PlateSpin Forge アプライアンスの 使用開始

1

PlateSpin Forge は障害復旧のための統合ハードウェアアプライアンスで、組み込まれた仮想化技術により物理ワークロードと仮想ワークロードを保護します。運用サーバの停止時または障害発生時には、ワークロードがすぐに PlateSpin Forge 復旧環境で稼動し、運用環境が復旧されるまで通常どおり実行し続けることができます。

- ◆ 9 ページのセクション 1.1 「開始準備」
- ◆ 9 ページのセクション 1.2 「アプライアンスの設定手順」
- ◆ 20 ページのセクション 1.3 「PlateSpin Forge Web クライアントの起動」
- ◆ 21 ページのセクション 1.4 「製品ライセンス」
- ◆ 22 ページのセクション 1.5 「セットアップ後のタスク」

1.1 開始準備

アプライアンスの初期設定の準備として、次のタスクを実行します。

1. **ライセンスアクティベーションコードを取得する**：製品のライセンス取得については、ライセンスアクティベーションコードが必要です。アクティベーションコードを参照するには、発注書に記載されている電子メールアドレスを使用して、[Novell Customer Center の Web サイト \(http://www.novell.com/customercenter/\)](http://www.novell.com/customercenter/) にログインします。
2. **設定ワークシートに入力する**：PlateSpin Forge Resource Kit パッケージには、現在の環境をドキュメント化し、環境設定に必要な変更を一覧にするために使用される環境設定ワークシートが含まれています。
[環境設定ワークシート \(http://www.novell.com/documentation/platespin_forge_3/pdfdoc/appl/appl_worksheet.pdf\)](http://www.novell.com/documentation/platespin_forge_3/pdfdoc/appl/appl_worksheet.pdf) のコピーは、オンラインでダウンロードすることもできます。
3. **ハードウェアを設定する**：PlateSpin Forge のアプライアンスを開梱し、箱の中に入っているコンポーネントリストを使用して、すべてのコンポーネントが入っていることを確認します。見つからないコンポーネントがある場合は、PlateSpin の担当者に連絡してください。同梱のマニュアルを参照しながら、ハードウェアをマウントして接続します。

1.2 アプライアンスの設定手順

PlateSpin Forge アプライアンスの初期のセットアップと設定は、以下の手順で構成される 1 回限りの手順です。

- 1 アプライアンスホストの設定 (製品の Hypervisor コンポーネントである VMware ESX)。
- 2 Forge Management VM の設定 (アプリケーションロジックがホスト上で実行する Windows 仮想マシン)。
- 3 製品ライセンスの有効化。

便宜のため、環境設定ワークシート (http://www.novell.com/documentation/platespin_forge_3/pdfdoc/appl/appl_worksheet.pdf) がアプライアンスマニュアルに含まれています。この手順を開始する前にそれに記入してください。

アプライアンスの初期設定の手順は、アプライアンスバージョンに依存します。

- ◆ 10 ページのセクション 1.2.1 「ユニットのアプライアンスバージョンの判別」
- ◆ 10 ページのセクション 1.2.2 「Forge コンソールを使用する場合のアプライアンスバージョン 1 の設定手順」
- ◆ 14 ページのセクション 1.2.3 「Forge ACC を使用する場合のアプライアンスバージョン 2 の設定手順」

1.2.1 ユニットのアプライアンスバージョンの判別

Forge ユニットのアプライアンスバージョンは、以下のいずれか 1 つの方法で判別できます。

- ◆ **Forge Web Client:** [PlateSpin Forge Web Client] の [ヘルプ] > [バージョン情報] ページでアプライアンスバージョン番号を参照してください。これは Forge を再設定する場合にのみ実行できます。
- ◆ **ローカル設定のインタフェースタイプ** モニタをアプライアンスに接続して、電源を入れます。Forge コンソールのブルースクリーンが表示されている場合は、アプライアンスバージョンは 1 です。ESX 設定画面が表示されている場合は、アプライアンスバージョンは 2 です。
- ◆ **リモート設定インタフェース:** Forge ユニットの Web ブラウザと IP アドレスを使用し、[Forge ACC を使用する場合のアプライアンスバージョン 2 の設定手順](#) に記述されているとおり ([ステップ 2](#) ~ [ステップ 4](#)) に Forge Appliance Configuration Console (ACC) の起動を試してみます。接続できる場合、アプライアンスバージョンは 2 です。

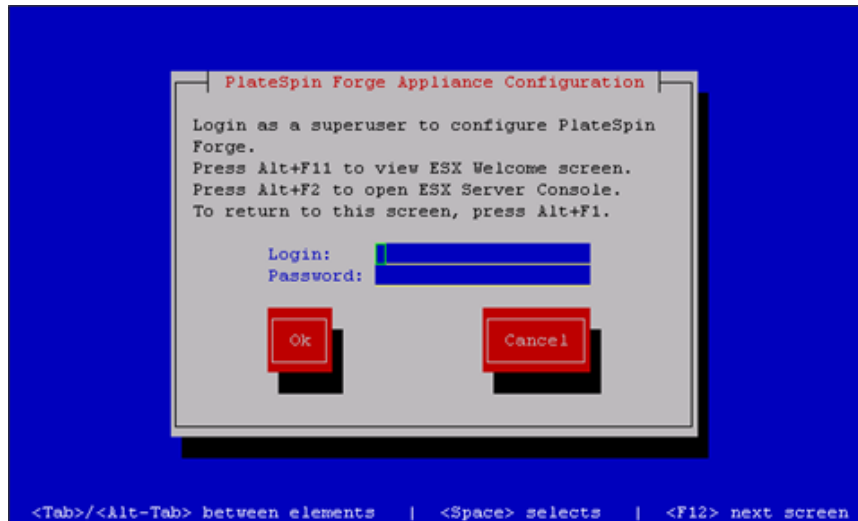
1.2.2 Forge コンソールを使用する場合のアプライアンスバージョン 1 の設定手順

PlateSpin Forge アプライアンスの最初のセットアップおよび設定の手順は 1 回です。セットアップ上の問題について PlateSpin テクニカルサポートに連絡する場合に備えて、印刷された設定ワークシートにすべての関連情報を記録します。

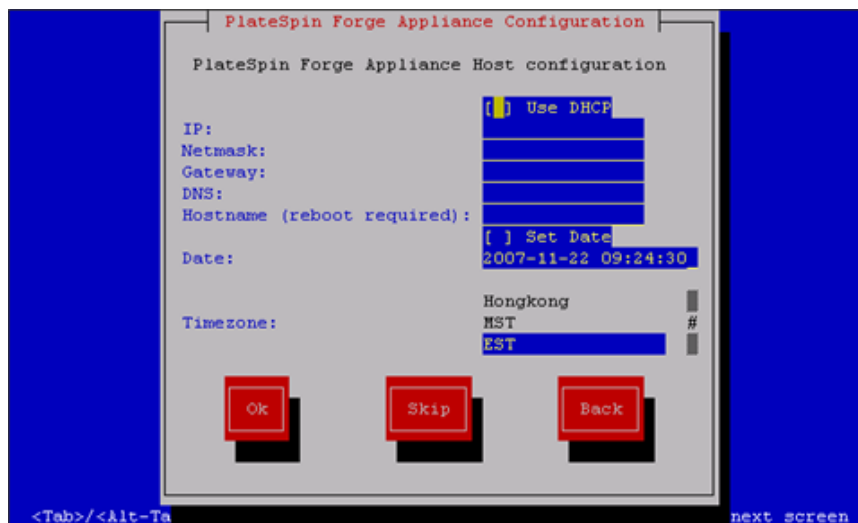
重要: PlateSpin Forge で他の仮想マシンを実行するなど、PlateSpin Forge または管理 VM がサポートしていない変更を行うと、パフォーマンスに影響し、さらにエンドユーザーライセンス契約違反となり、保証が無効となる可能性があります。

PlateSpin Forge を完全に設定するには、ハードウェアおよび管理 VM(ソフトウェア)を設定する必要があります。

- 1 9 ページの「**開始準備**」に記述されている準備手順を実行します。
- 2 初めて電源をオンにする場合、[PlateSpin Forge Configuration (PlateSpin Forge の設定)] ダイアログボックスが表示されることを確認します。



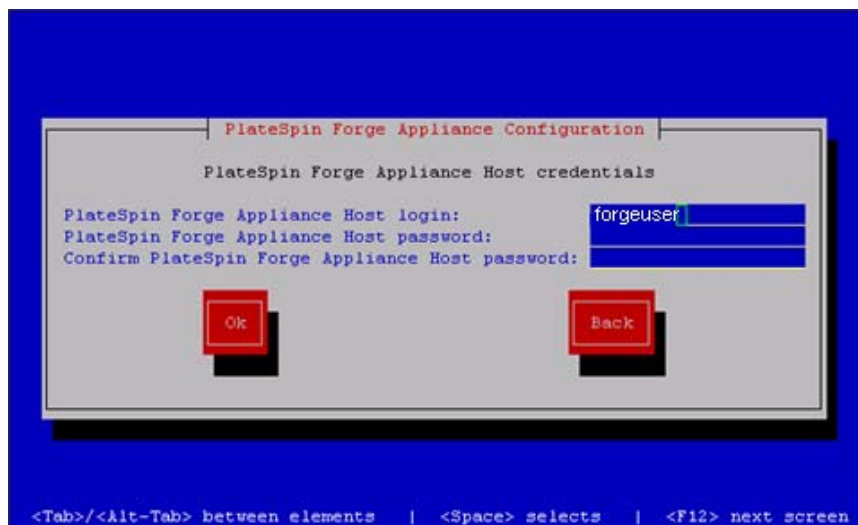
- 3 [Login (ログイン)] フィールドに「root」、[Password (パスワード)] フィールドに「password」と入力します。[OK] を選択します。
[change default password (デフォルトのパスワードの変更)] ダイアログボックスが表示されます。セットアップおよび設定する前に、デフォルトのパスワードを変更する必要があります。
- 4 [New password (新規パスワード)] フィールドに新しいパスワードを入力して、[Confirm Password (パスワードの確認)] フィールドに再び同じパスワードを入力します。[OK] を選択します。
システムにより、パスワード変更について確認されます。
- 5 [OK] を選択します。
新しいパスワードを使用して再度ログインできるように、ログアウトされた状態となります。
- 6 再度ログインします。
[VMware ESX EULA] ダイアログボックスが表示されます。エンドユーザライセンスを承認して、続行します。
- 7 [I accept the terms and conditions (契約条件に同意します)] を選択して、[OK] を選択します。
最新のエンドユーザライセンス契約については、[VMware Web サイト \(http://www.vmware.com\)](http://www.vmware.com) を参照してください。
[PlateSpin Forge EULA (PlateSpin Forge EULA)] ダイアログボックスが表示されます。
- 8 [I accept the terms and conditions (契約条件に同意します)] を選択して、[OK] を選択します。
[PlateSpin Forge Host Configuration (PlateSpin Forge ホストの設定)] ダイアログボックスが表示されます。
- 9 アプライアンスホストに割り当てる IP アドレス、ネットマスク、およびゲートウェイの IP アドレスを指定します。オプションで、[Hostname (ホスト名)] も入力できますが、アプライアンスを再起動する必要があります。



DHCPを使用することもできますが、静的IPアドレスを割り当てることをお勧めします。また、複数アプライアンスの環境では、ホスト名の重複を避けるためにアプライアンスにホスト名を割り当てることを強くお勧めします。

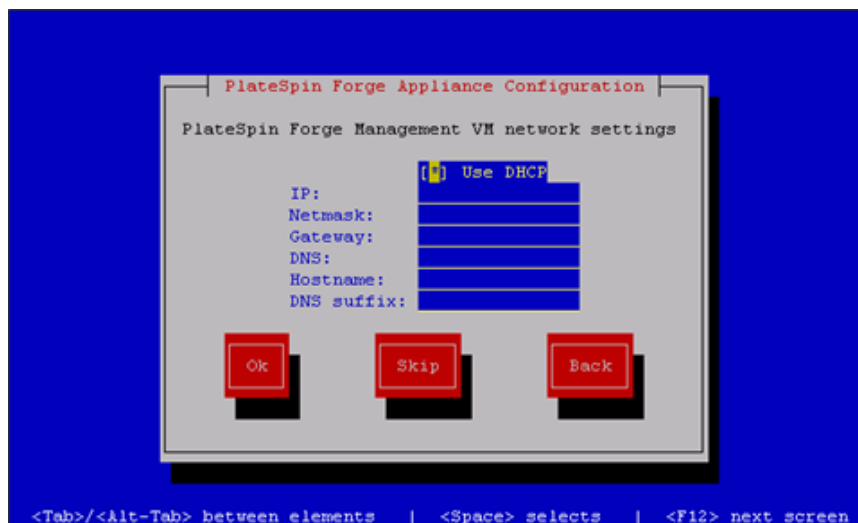
- 10 [Set Date (設定日)] を選択して日時を指定し、[Timezone (タイムゾーン)] を選択し、[OK] を選択します。

[PlateSpin Forge Host Credentials (PlateSpin Forge ホストの資格情報)] ダイアログボックスが表示されます。このダイアログボックスに、アプライアンスの hypervisor 層である、ESX サーバにアクセスするために使用する資格情報を入力します。



- 11 [PlateSpin Forge Appliance Host login(PlateSpin Forge アプライアンスホストログイン)] フィールドでログイン名を指定し、パスワードを入力して、確認のためにパスワードを再入力して [OK] を選択します。この操作によって、root グループのメンバーである新しい ESX ユーザが作成されます。root ユーザとは異なり、新しいユーザには ESX に対する SSH 許可があります。

[Management VM network settings (管理 VM ネットワーク設定)] ダイアログボックスが表示されます。



- 12 [Use DHCP (DHCP の使用)] をオフにして、管理 VM の IP アドレス、ネットマスク、ゲートウェイアドレス、および (オプションで) ホスト名を指定します。ここで入力される IP アドレスは、PlateSpin Forge Web クライアントにアクセスするために使用されます。

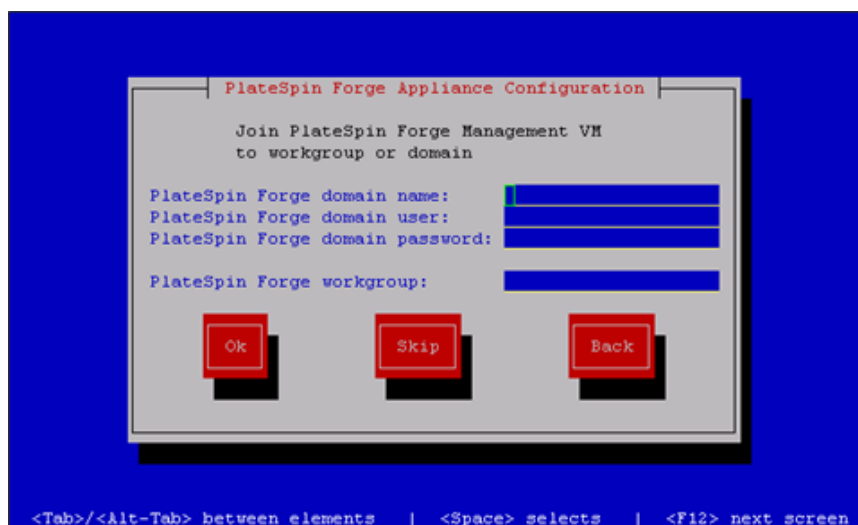
DHCP を使用することもできますが、静的 IP アドレスを割り当てることをお勧めします。

- 13 (オプション)DNS サーバの名前を [DNS] フィールドに入力して、[DNS suffix (DNS 接尾辞)] を指定します。

- 14 [OK] をクリックします。

[Appliance Configuration (アプライアンスの設定)] ダイアログボックスで、ワークグループまたはドメインに参加するかどうかを尋ねるメッセージが表示されます。

- 15 [Yes (はい)] を選択して、[Join PlateSpin Forge Management VM to Workgroup or Domain (PlateSpin Forge 管理 VM をワークグループまたはドメインに参加させる)] ダイアログボックスを開きます。



ドメインに参加すると、選択したドメインユーザにアプリケーションにアクセスする権限を付与できます。

16 次のいずれかの操作を行います。

- ◆ ドメイン名、ユーザ、パスワードを入力するか、ワークグループを入力します。ドメインフィールドが入力されている場合、[Workgroup (ワークグループ)] フィールドは無視されます。[OK] を選択します。
- ◆ フィールドを空のまま残し、[Skip (省略)] をクリックして次の手順に進み、デフォルトのワークグループ名として「WORKGROUP」を使用します。

[Configuration Review (設定レビュー)] ダイアログボックスに、選択したパラメータの概要が表示されます。この情報を使用して、設定を確認してください。

必要に応じて、[キャンセル] を選択すると、設定インタフェースが終了するか、エラーメッセージが表示されます。前の設定を編集するには、[Back (戻る)] を選択します。

17 [OK] を選択します。

設定の進捗状況を示すダイアログボックスが表示されます。設定には数分かかる可能性があります。設定が正常に終了したか失敗したかを確認する最後のダイアログボックスが表示されます。プロセスが正常に終了すると、ダイアログボックスには PlateSpin Forge Web Client にアクセスするために使用できる URL が表示されます。今後使用する場合のためにこの URL は記録しておいてください。



18 [OK] を選択します。

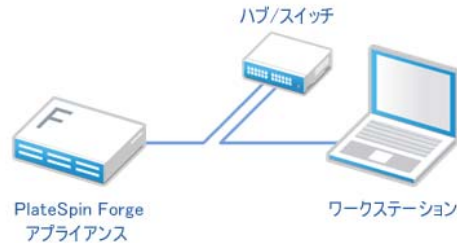
1.2.3 Forge ACC を使用する場合のアプライアンスバージョン 2 の設定手順

アプライアンスのインストールと環境設定を開始するには、別のコンピュータを通じて直接アプライアンスに接続し、ブラウザベースの Appliance Configuration Console (ACC) ユーティリティを使用する必要があります。柔軟性およびモビリティが提供されるため、ノートパソコンの使用をお勧めします。

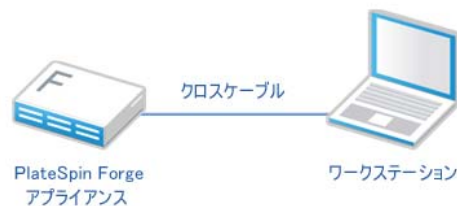
1 9 ページの「開始準備」に記述されている準備手順を実行します。

2 コンピュータをアプライアンスに接続します。これは、次のいずれかの方法で実現できます。

- ◆ **ネットワークスイッチを通じた接続**：両方のユニットを、イーサネットネットワークケーブルを通じてネットワークスイッチまたはハブに接続します。



- ◆ **直接接続**：PlateSpin Forge アプライアンスとコンピュータを、クロスオーバーケーブルを通じて直接接続します。



3 PlateSpin Forge アプライアンスの電源をオンにします。システムが完全に開始するまで少なくとも 10 分間待機した後で、接続を試みてください。

4 コンピュータに IP アドレスを 192.168.1.x の範囲、および 255.255.255.0 の関連サブネットマスク (またはコンピュータがアプライアンスのデフォルトの IP アドレス、192.168.1.200 に ping できることを確認し、あらゆる IP アドレス / サブネットマスクの組み合わせ) で割り当てます。

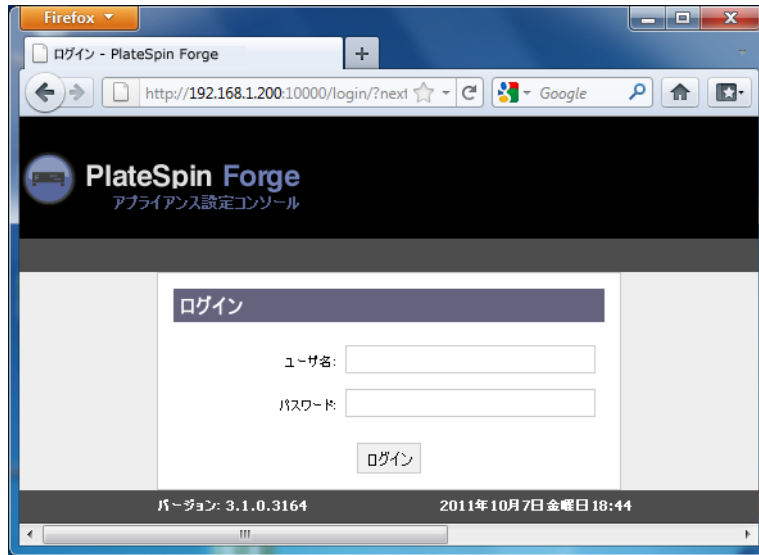
注：次の IP アドレスは使用しないでください。

- ◆ 192.168.1.200 - hypervisor によって使用されています。
- ◆ 192.168.1.210 - Forge VM によって使用されています (自動アプライアンス設定ユーティリティによって割り当てられています)。

5 サポートされている Web ブラウザを開いて、<http://192.168.1.200:10000> で Forge Appliance Configuration Console (ACC) に移動します。

注：ブラウザによっては、プロトコル (<http://>) を含み、ブラウザのアドレスバーに URL 全体を入力する必要がある場合があります。

ログインするようにプロンプトが表示されます。



- 6 root アカウントを使用してログインしてください (パスワード: パスワード)。
[パスワード変更] ページにリダイレクトされます。
- 7 root アカウントと forgeuser アカウントのパスワードを変更します。
- 8 ACC からログアウトします。
- 9 **ステップ 7** で設定したパスワードを使用して、foreuser アカウントでログインします。
ホストまたは Forge 仮想マシンを設定するようにプロンプトが表示されます。



- 10 [ホストの設定] をクリックします。
[ホストの設定] 画面が表示されます。

PlateSpin Forge
アプライアンス設定コンソール

ホーム ホスト Forge VM ログ 回復

ホストを設定 適用 キャンセル

ネットワーク設定:

IPアドレス
192 . 168 . 1 . 200

サブネットマスク
255 . 255 . 255 . 0

ゲートウェイ
192 . 168 . 1 . 1

DNS (オプション)
192 . 168 . 1 . 1

ホスト名:
forge

日付と時刻設定:

日付 時刻: HH:MM タイムゾーン
2011-10-07 18:49 米国/トロント

バージョン: 3.1.0.3164 2011年10月7日 金曜日 18:49 パスワードを変更 | ログアウト

注: 最初はアプライアンスホストを設定する必要があります。これを実行する前に Forge VM の設定を試みないでください。

- 適切な設定を入力し、[次へ] > [適用] をクリックします。
指定した設定パラメータの概要が表示されます。

ホーム ホスト Forge VM ログ 回復

ホストを設定

ネット

太字で示された以下の変更済みの設定はホストシステムでもまもなく更新されます。

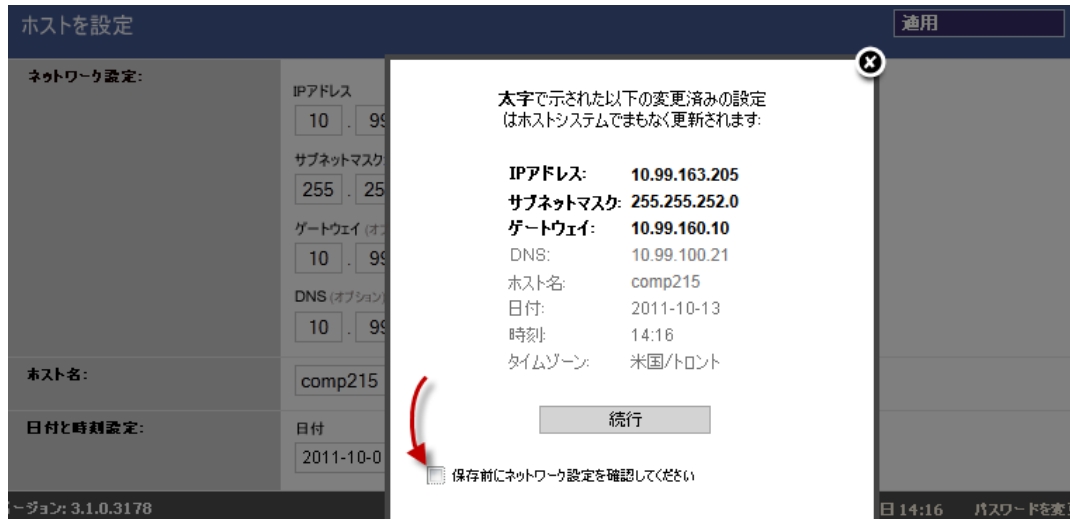
IPアドレス: **10.99.163.205**
 サブネットマスク: **255.255.252.0**
 ゲートウェイ: **10.99.160.10**
 DNS: **10.99.100.21**
 ホスト名: forge
 日付: 2011-10-07
 時刻: **11:54**
 タイムゾーン: 米国/トロント

ホスト

日付

キャンセル 続行

注: アプライアンスを再設定している場合 (この手順を実行するのが初めてでない場合)、新しい接続が機能しているか確認するためにプロンプトが表示されます。確認が失敗した場合、Forge IP アドレスが元に戻ります。



- 12 [続行] をクリックします。

進行状況インジケータが表示され、設定が完了した後に、成功したかどうかを確認できます。



- 13 コンピュータの接続を解除し、アプライアンスを運用ネットワークに接続します。そこで新しい IP アドレスが有効になります。
- 14 コンピュータから、`http://<appliance_IP>:10000` に移動します。
(同じコンピュータを使用している場合は、その IP アドレスをネットワーク内で有効なものに変更するようにしてください。)
- 15 foregeuser アカウントを使用してログインします。
- 16 [Forge VM の設定] をクリックします。
[Forge VM の設定] ページが表示されます。

Forge VMを設定
適用

ネットワーク設定:

DHCPサーバから自動的にIP設定を取得

次のスタティックネットワーク設定を使用:

IPアドレス
 . . .

サブネットマスク
 . . .

ゲートウェイ (オプション)
 . . .

DNS (オプション)
 . . .

ホスト名: ✖

DNSサフィックス: (オプション)

所属メンバー:

ドメイン

ワークグループ

- 17 適切な設定を入力し、[次へ] > [適用] をクリックします。
指定した設定パラメータの概要が表示されます。

Forge VMを設定
適用

ネットワーク設定:

DHCPサーバから自動的にIP設定を取得

次のスタティックネットワーク設定を使用:

IPアドレス
 . . .

サブネットマスク
 . . .

ゲートウェイ (オプション)
 . . .

DNS (オプション)
 . . .

ホスト名:

DNSサフィックス:

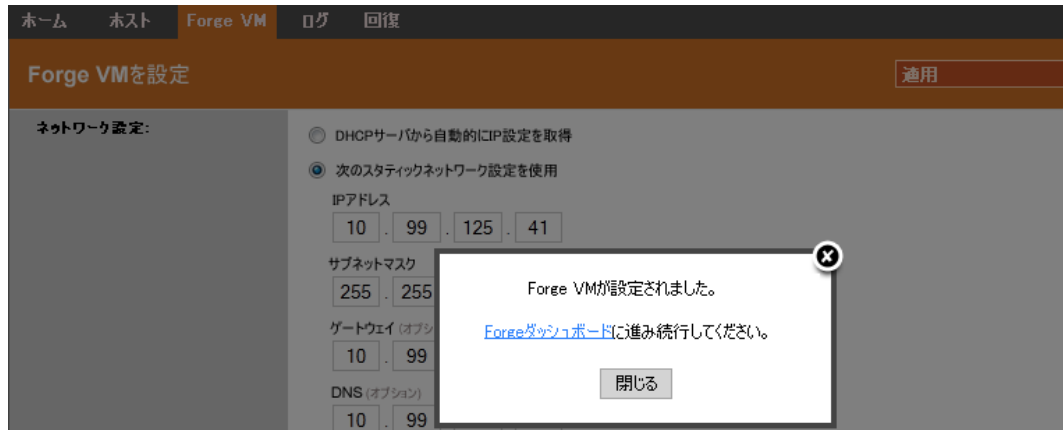
✖

太字で示された以下の変更済みの設定は Forge VMでまもなく更新されます。

DHCPを使用:	(無)い
IPアドレス:	10.99.125.41
サブネットマスク:	255.255.254.0
ゲートウェイ:	10.99.124.10
DNS:	10.99.100.21
ホスト名:	forge3178
DNSサフィックス:	TEST
ワークグループ:	TEST

注: Forge VMは設定プロセス中に数回再起動される場合があります。

- 18 [続行] をクリックして、VM の設定が完了するまで待ちます。
進行状況インジケータが表示され、設定が完了した後に、成功したか確認できます。



- 19 [Forge ダッシュボード] リンクをクリックして、`http://<appliance_IP>/forge` で Forge UI に接続します。Forge VM のデフォルトの資格情報を使用します (ユーザ名 : Administrator、パスワード : password)。

1.3 PlateSpin Forge Web クライアントの起動

アプライアンスでの相互作用のほとんどは、ブラウザベースの PlateSpin Forge Web クライアントを介して行われます。

サポートされているブラウザを次に示します。

- ◆ Microsoft Internet Explorer 7 以降
- ◆ Mozilla Firefox 3.6 以降

注 : JavaScript (アクティブスクリプト) がブラウザで有効になっている必要があります。

- ◆ **Internet Explorer:** [ツール] > [Internet Options (インターネットオプション)] > [セキュリティ] > [インターネット] ゾーン > [カスタムレベル] の順にクリックし、[アクティブスクリプト] 機能に対して [有効にする] オプションを選択します。
- ◆ **Firefox:** [ツール] > [オプション] > [コンテンツ] の順にクリックし、[Java を有効にする] オプションを選択します。

PlateSpin Forge Web クライアントを起動するには、次の手順に従います。

- 1 Web ブラウザを開き、次のページにアクセスします。

`http://<hostname | IP_address>/Forge`

<hostname | IP_address> の部分を、Forge VM のホスト名または IP アドレスで置き換えます。

SSL が有効な場合は、URL に https を使用します。

PlateSpin Forge に初めてログインする場合、ブラウザは自動的にライセンスアクティベーションページにリダイレクトします。

1.4 製品ライセンス

製品のライセンスには、ライセンスのアクティベーションコードが必要です。ライセンスのアクティベーションコードがない場合、Novell Customer Center の Web サイト (<http://www.novell.com/customercenter/>) を通じて要求します。ライセンスのアクティベーションコードは、電子メールで送信されます。

製品ライセンスを有効にするには、オンラインとオフラインの2つのオプションがあります。

- 21 ページのセクション 1.4.1 「オンラインライセンスのアクティベーション」
- 21 ページのセクション 1.4.2 「オフラインライセンスのアクティベーション」

1.4.1 オンラインライセンスのアクティベーション

オンラインのアクティベーションについては、PlateSpin Forge をインターネットに接続する必要があります。

注: HTTP プロキシは、オンラインアクティベーション中に失敗する可能性があります。HTTP プロキシ環境のユーザに対しては、オフラインアクティベーションをお勧めします。

- 1 PlateSpin Forge Web クライアントで、*[Settings (設定)]* > *[Licenses (ライセンス)]* > *[Add License (ライセンスの追加)]* の順にクリックします。[ライセンスのアクティベーション] ページが表示されます。

- 2 *[オンラインアクティベーション]* を選択して、注文時に指定した電子メールアドレスと受け取ったアクティベーションコードを指定して、*[有効にする]* をクリックします。システムはインターネット経由で必要なライセンスを取得し、製品を有効にします。

1.4.2 オフラインライセンスのアクティベーション

オフラインアクティベーションでは、インターネットにアクセスできるマシンを使用してインターネット経由でライセンスキーを取得します。

注: ライセンスキーを取得するには、Novell アカウントを持っている必要があります。PlateSpin の既存のお客様であり、Novell アカウントを持っていない場合は、最初にアカウントを作成する必要があります。Novell アカウントのユーザ名の入力には、既存の PlateSpin ユーザ名を使用してください (PlateSpin で登録されている有効な電子メールアドレス)。

- 1 PlateSpin Forge Web Client で、*[設定]* > *[ライセンス]* > *[ライセンスの追加]* の順にクリックします。[ライセンスアクティベーション] ページが表示されます。
- 2 *[オフラインアクティベーション]* を選択します。

- 3 ハードウェア ID を使用して、[PlateSpin 製品アクティベーション Web サイト \(http://www.platespin.com/productactivation/ActivateOrder.aspx\)](http://www.platespin.com/productactivation/ActivateOrder.aspx) でライセンスキーファイルを作成します。この処理には、注文時に指定したユーザ名、パスワード、電子メールアドレス、および受け取ったアクティベーションコードも必要です。
- 4 ファイルのパスを入力するか、該当する場所を参照して、[\[有効にする\]](#) をクリックします。
ライセンスキーファイルが保存され、このファイルに基づいて製品が有効化されます。

1.5 セットアップ後のタスク

1. (オプション、国際バージョンを対象) 特定のサポート対象言語で使用できるように、PlateSpin Forge およびブラウザを設定します。『ユーザガイド』の「[PlateSpin Forge の国際バージョンの言語設定](#)」を参照してください。
2. メインの運用ネットワークからレプリケーションまたはフェールオーバーのトラフィックを切り離すようにアプライアンスホストのネットワークを設定します。『ユーザガイド』の「[アプライアンスのネットワークの設定](#)」を参照してください。
3. (オプション) 組織で必要とされるとおりに、適切な役割ベースのアクセス設定を設定します。『ユーザガイド』の「[ユーザ権限および認証の設定](#)」を参照してください。特に、デフォルトの管理者パスワードをすぐに変更するようにしてください（「[PlateSpin Forge 管理者パスワードの変更](#)」を参照）。
4. SMTP の設定を行い、電子メール通知の受信者を追加します。詳細については、『ユーザガイド』の「[イベントおよびレポートの自動電子メール通知のセットアップ](#)」を参照してください。
5. (オプション) Forge にデータストレージ容量を追加します。『ユーザガイド』の「[PlateSpin Forge の国際バージョンの言語設定](#)」を参照してください。
6. PlateSpin Forge Web Client (『ユーザガイド』の「[業務の常時稼動](#)」を参照) およびワークロード保護のライフサイクル (『ユーザガイド』の「[ワークロードの保護と回復の基本ワークフロー](#)」) に習熟してください。